

# 秀島踏波(ひでしまとうは)プロフィール

2014年12月現在

- 1941 福岡県添田町に生れる。本名は秀島保雄  
1960 福岡県立田川高等学校卒業。その後、国立奈良学芸大学特設書道科卒業。学芸専攻科(書道)修了。  
1970 大阪府立高等学校教諭(芸術科書道)となり、2002年定年退職。2005年教職を退く。

## 教育活動関係

- 1972～75 井島 勉(京大教授・美学)先生を囲む「書の美学と書教育」に関する読書会に参加、益を受ける  
1975 府立豊中高等学校教員研修機関誌〈豊陵〉第2号に  
「自己の生にめざめる書教育」—芸術教育としての書教育実践ノート—を発表  
1977 全国高等学校書道教育研究会第4回東京大会にて演題『表現指導の原点は何か』を発表  
1982 「書の創作」—ほかの誰でもない自分自身の書を書くために—を著作(書道教育社刊行)  
1982 全高書研第8回福岡大会にて演題『自己の生に目覚める書教育』を発表  
1983 芸術科書道教科書「高校書道」大阪書籍(株)発刊、2005年まで著作にあたる(共著)  
1984～2006 三重県・長野県・福井県・長野県・岐阜県・長野県の各教育委員会、高等学校書道教育研究会  
催の講習会講師に招かれる  
1988 新潟大学書道科夏期合宿錬成会に講師として招かれる(1994年、2001年)  
2009 大阪市立西天満小学校の特別講師として2年・6年生に書の表現指導を実施(以後毎年)  
滋賀県書道教育研究会主催の第47回大会講師として講演、演題『心を動かし、生き方に資する書教育』  
2011 長野県高等学校書道教育研究会主催の講師として招かれ講演、  
演題『書教育はまこと芸術教育たりうるか—生き方に資する書教育を！—』

## 作家活動関係

- 1960 日展系の書道団体「墨彩会」(主宰 岡本松堂)会員となる  
1965 日展入選(以後5回入選)  
1972 自問・自戒・自励のための個展 第1回秀島踏波展(大阪市・カワチ画廊)開催 偶然立ち寄った尊敬する  
画家・須田剋太から励ましを受ける  
1981 日展出品をやめ、1991年に書道団体「墨彩会」を退会する  
1981 サントリー(株)海外レストランの為の作品制作(1982・1983年)  
1989 KOBE 現代美術展4・画廊ポルティコ個展(神戸市・神戸市民文化振興財団主催)  
1994 NHK テレビ大阪放送局「おはよう近畿」の《土曜インタビュー》に出演、書教育や作家活動が紹介される  
1998 ABC ギャラリー個展(朝日放送・近鉄百貨店主催)  
2000 田川市美術館個展—筑豊の魂が躍動する—(秀島踏波書展実行委員会主催)  
2003 福井県立美術館個展—書の表現、その熱き心—(福井県立美術館主催)  
2005 福岡県立美術館個展—筑豊の鼓動・炎える魂—(添田町・秀島踏波書展実行委員会主催)  
2006 NHK テレビ福岡放送局制作ドラマ『いつか逢う街』のタイトル文字揮毫  
2013 書・画 秀島踏波展(三田市・G・けやき企画)  
書と非書の際展(アートフォーラム・JARFO企画)  
京団扇『日本の風展』(総合デザイナー協会DAS主催)  
2014 秀島踏波展(池田市・G・ぶらんしゅ企画)  
秀島踏波書展(鳥取県・クラフト館岩井窯企画)  
狼涙忌展(西宮市・アトリエ西宮企画)  
震災から20年 震災 記憶 美術(BBプラザ美術館主催)

・ その他、自主企画展・画廊企画展・グループ展・会員展など多数

《主なパブリックコレクション》 福井県立美術館(2点) 田川市美術館(4点) 田川市石炭歴史博物館(3点)

秀島踏波 560-0045 豊中市刀根山6-5-25 ☎ & fax 06-6843-8975